

第46回運営会議 (2005.6.7開催) 結果報告		2005.6.13 庶務発信
開催日時：	2005年6月7日(火) 9:40～12:45	
場 所：	キャンパスプラザ京都 2階 第1会議室	
参加者数：	運営会議委員7名(委員長、副委員長2名、琵琶湖部会長、淀川部会長、木津川上流部会長、猪名川部会長)、河川管理者3名	
<p>1. 決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水位操作WGのメンバーは、環境分野では西野・村上(興)・中村の各委員、利水分野では荻野・池淵の各委員、治水分野では綾・江頭の各委員、文化・社会分野では嘉田委員の8名とし、正副委員長も加わるとし、リーダーは西野委員に依頼する。この会議でメンバー決定したという通知を出して了解を受けて日程調整を行い、6月中には第1回を開催する。 ・各部会の事業進捗点検は、河川管理者から提供いただいた審議資料3のように、今後は事業の位置づけや堤防整備の全体像がわかるような資料を使って審議を進める。 ・次回の運営会議では、地域別部会を8月に開催するか否か、仮に開催する場合の審議テーマを各部会から報告してもらい、地域別部会および全体委員会の開催日程を決める。 ・第47回運営会議は7月5日(火) 9:30～13:00の開催とし、次回のテーマ別部会は7月23日(土) 10:00～15:00(利水・水需要管理部会は10:00～12:00、住民参加部会は13:00～15:00)に開催する。 <p>2. 報告の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹生ダムの視察に参加した委員より、「現地視察の実施状況」について報告がなされ、視察後の意見交換会の有意性が確認された。 ・寺田委員長から河川管理者へ提出した「淀川水系流域委員会における委員謝金の支給基準の変更について(要請)」の要請文書を確認された。 <p>3. 審議の概要</p> <p>以下の議題について、以下の意見交換がなされ、決定事項に示されている内容が決定された。</p> <p>①水位操作WGの設置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回委員会において、水位操作WGの設置については運営会議と委員長に一任されており、ここで決めたい。人数は、7名程度かと思っているが、ふさわしい方を選出していただきたい。かなり広い範囲での検討が必要なので、メンバー選定にあたっては、専門分野の視点が必要である(委員長)。 ・引っ張っていける人は定量的に物事を考えられる人がよい。水位操作により、どのような数値的なものが出るのか。 ・水位操作規則を変えたらどうなり、どんな不具合がでるのかがポイント。その水位の結果から環境面ではどうか。大川の維持流量の面からはどうかということ。 ・WGでは、ポイントがわかるシミュレーションが必要であるが、体制がついていかない。次の週までに結果を出せと言われても出せないのではないか。 <p>②女性・若手委員追加選任の件について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新委員会発足直後から、女性や若手を追加選任すべきではないかとの意見が出ている。この点についてのご意見をお聞きしたい(委員長)。 ・新委員会発足からまだ半年も経過していないこの時期に、軽々に委員会の定員変更を前提に委員追加の選任を検討するのではなく、検討が進んでいくなかで女性・若手の方を新たに選任する方法を検討していくのが妥当である。 <p>③各部会における「事業進捗状況の点検」の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで、個々の事業ごとに意見を述べてきたが、今後は、全体について資料を用意するということは、若干方針を変えるということか(委員長)。 		

→前回委員会でも、全体がわからないという意見があったため今回の資料を作成した（河川管理者）。

- ・理解を助ける資料を作成していただき、それを理解したうえで、検討するということ。委員会も意見を出しやすいのは間違いない。試案は、大いに結構なので、他にも拡大していただきたい（委員長）。

④委員会・各部会開催の今後のスケジュールについて

- ・6月20日に視察が終了するので、7月の中旬に、テーマ別部会を含めて第2回地域別部会を開催していただき、その際に更なる視察が必要かどうかも検討して欲しい。水位操作については、8月中旬までに検討結果(中間とりまとめ)を出していただければ、全体委員会を8月下旬に開催できる。部会で視察の要望が出れば運営会議で検討し、8月頃の実施でも良い。河川管理者の検討課題が8月中には出てくることを希望している（委員長）。
- ・部会では肝心の重要テーマに議論が及ばず、次回も同様では批判を受ける。全体委員会と部会との議論の位置づけがわかりにくい。部会では、ダムの議論は避けて通れず、何をどう議論するのか難しい。
- ・一般傍聴者も含めて関心の高いのがダムの問題。委員会に向けて、ダムに関連させて意見交換をするのがよい。特に、地域別部会は、ダムがないと盛り上がらない。委員が2つの部会を兼任しているので進め方が難しく、ダム問題は委員会で審議した方がよい。地域別部会は進捗点検を行う。テーマは検討する意味がある。
- ・7月中旬までにはテーマ別部会を開催して欲しい。地域別部会を開催するとすれば、どのテーマで開催できるか、開催した方がよいのかを検討していただき、現地視察を終えてから、運営会議で各地域部会の開催が可能かどうか等を検討したい。住民参加と利水は7月上旬か中旬に開催するということではどうか。一般傍聴者からの問いかけもあり、しかるべき時期に見通しの話をしていただきたい（委員長）。

⑥淀川水系流域委員会のパンフレット改訂案について

- ・ゲラ刷りで提出して欲しい。それで確認したい。

⑦その他

- ・部会ごとのメーリングリストの必要性は、部会で検討して欲しい。

※このお知らせは委員の皆様に必要な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させていただくものです。